3カ年にわたる名所・旧跡看板リニューアル完了!

品川礎会は平成12年（2000年）、北品川の祭り関係のメンバーが中心となり、子どもの頃商店街で、親と買い物の際に買い食いをしたり、縁日等でとても賑わっていた頃のように、その賑わいを復活させようと有志で結成された団体です。

2000年当時、縁日の復活など地元の活性化のイベント実施と並行して、「旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会」さんの懸案であった、名所・旧跡看板設置が中々進まないという状況を受け、品川礎会が説明文を品川区教育委員会にお願いし、文面を地元の書が上手い方々に書いていただき、また地元の大工さんにお願いをして、子ども木工教室を開催した際に、一緒に看板作りをして、20数ヶ所に設置しました。

しかしながら設置から約20年が経過し、看板の劣化・破損・紛失などにより設置当初より認知度も下がってきたこともあり、品川区からの援助の元「旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会」さんと共同ですべての看板をリニューアルすることとなりました。結果的に2019年から2021年の3年間で名所旧跡看板・街道松看板合わせて40カ所のリニューアルを実施しました。

今回のリニューアル作業に際しても、品川礎会が中心となり、コロナ禍のなか地元の工務店さん・塗装屋さん・印刷屋さん・板金屋さん等のご協力を得て、以前設置した看板よりグレードアップした看板を作成・設置することが出来ました。

今後も設置した看板のメンテナンスを行いつつ「旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会」さんと補い合いながら、品川宿周辺の活性化の力になれればと思っております。

品川礎会会長　服部伸一郎



オンライン開催!東海道シンポジウムin掛川宿・日坂宿　2021年10月16日（土）13時配信

東海道の宿場町というと、どんなイメージを持つでしょうか。もしかしたら古き良きセピア色の世界を想像する方も多いかもしれませんね。だけど、訪れてみるとそこには実際に今も生活の根を下ろし、時代社会に合わせて変容を繰り返しながら今も「宿駅」としての生きていることがわかるはずです。

過去を知り、その世界観を楽しむことも大切だと思いますし、私も好きです。それと同時に、今何がそこで起きていて、どんな未来を見ている人たちがいるのかを知ることも良いなと感じます。ただ純粋にワクワクするのです。

歴史本の中では名も語られない人たちの営みがどんなものだったのか、そういう過去は切り離されたものではなくて、しっかりと今に繋がっている。その繋がりの中で、私たちが受け取ったものは何でしょうか。目に見えるものも、それでないものもあるでしょう。

東海道シンポジウムin掛川日坂宿大会では、過去現在未来のつながりをテーマに、この町の人たちの息遣いが伝わればいいと思います。


二宮金次郎像と大日本報徳社大講堂


掛川宿　武藤太郎

駿河東海道おんぱく　開催!　2021年10月16日～11月28日

静岡県静岡市の旧東海道二峠六宿を舞台に、駿河東海道おんぱくを実施します。

おんぱくとはもともとは大分県別府市で始まった「別府八湯温泉博覧会」を略して「おんぱく」と呼んだのが発祥。地域資源を新しいアイデアや新しい視点で見つめなおして活用し、様々な体験プログラムを体験してもらうことで、地域の魅力や面白さに出会うきっかけづくりをします。全国でもおんぱくを取り入れる市町村が増え、「温故知新博覧会（おんこちしんはくらんかい）」略して「おんぱく」として開催しています。

静岡市では、2峠6宿を舞台に「宿場×○○」をテーマとした「いとおかし」なプログラムを開催します。

いとおかし とは大きな感動という意味もあり、提供するパートナー、体験する参加者の方々、訪れた人を受け入れる地域の人など、すべての人が主役となり、地域を楽しむことで、まずはその地域の“ファン”を増やすことを目的としています。

さてそんな今年の駿河東海道おんぱくは、2021年10月16日から11月28日までの44日間、全44プログラムが実施される予定です。一棟貸しの古民家でお茶染めのミツロウラップ作りや、日本紅茶発祥地の丸子紅茶を使ったテントサウナなどなど、地域を活かしつつ楽しめるプログラムが盛りだくさん。

また今年は、二峠六宿周辺の面白い人たちについてもっと知ってもらいたい、身近に感じてもらいたいと思い、地域の人を浮世絵風に描いたトレーディングカードも作成しました。主役を増やすそんな仕掛けもしています。

駿河東海道おんぱく事務局
松木季代子



※コロナ対策で県外の方をお断りする場合があります。本企画は静岡中部エリアの住民および静岡おんぱくネットワーク会員を対象としています。

発行：旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会

東海道品川宿
宿品 会報みこしだこ
2021年 秋版
2021年10月1日発行 第57号

ご挨拶

旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会　会長　堀江 新三

新型コロナウィルスの状況がまだ収束するような兆しがなく緊急事態宣言が続く中、皆様方に於かれましてはいかがお過ごしでしょうか。

ワクチン接種の状況も広がりつつある中で状況が上向き、早く皆様と直接お会いして話をさせていただける日が参りますことを心から願っております。

このようなコロナ禍において本年も通常総会も開くこともできず、報告書送付が滞っておりましたことを先ずもって心よりお詫び申し上げます。

まもなく皆様へ資料報告書が届くよう準備を進めておりますので、もう少々お時間をいただけますようお願い申し上げます。

今回このような状況下でも、様々な動きがございましたことをいくつかご報告させていただきます。

①オリンピックホッケー競技・パラリンピック 五人制サッカー（ブラインドサッカー®）応援フラッグ

オリンピック・パラリンピック東京2020大会は無観客での開催になりましたが、日本代表選手の皆さんに応援の気持ちを伝えようということで各町会・商店街・学校・団体・企業等の皆様にフラッグへの応援寄せ書きのご協力のお願いをさせていただきました。おかげさまで3000名を超える皆様からメッセージをいただき、日本代表選手の皆様に品川の応援の気持ちを届けさせていただきました。皆様にはお忙しい中ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

②しながわホッケーファンゾーン

オリンピック東京2020大会ホッケー競技を品川で機運を盛り上げ応援する目的で、しながわホッケーファンゾーン実行委員会に副委員長として参加協力しました。コロナ禍に於いて無観客になったことを受け、盛り上げるためのリアルイベントは中止となりましたが、この状況下でも行える取り組みを実施しました。

1. 六行会ホールにて無観客で収録したステージをネット配信
2. 真っ白なホッケースティックに品川ゆかりのアティストの皆さんの世界観を表現していただいた「ホッケーアートスティック」の制作
3. 全国各地にあるホッケータウンとオンラインでつなぎ「ホッケータウンサミット」の開催
4. フラッグへの応援メッセージ寄せ書き
5. ホッケー川柳の募集

ご出演も含めご協力いただいた皆様に御礼申し上げます。

③第33回東海道シンポジウム掛川・日坂宿大会

前号の挨拶で述べさせていただいたとおり、本年5月よりNPO法人歴史の道東海道の理事長に就任し、これから各宿場を支えていく若手にバトンタッチをするべく、各宿場の若手の皆さんを中心にリモートでミーティングを重ねてきました。その中で本年10/16（土）～17（日）の予定で企画を進めておりました第33回東海道シンポジウム掛川・日坂宿大会が10/16（土）の1日のみオンライン配信にて開催されることが決定しました。このような状況下で若手が中心となりリアル開催を目指して企画・準備を進めてきていただきましたがやむなくこの様な形で開催をすることになりました。関係者の皆様のご苦労をお察しするとともに心から御礼申し上げます。

④月刊「東京人」12月号（11月発売）の取材を受けました

会長・副会長4名で月刊「東京人」の取材を受けました。どのような内容で掲載されますかお楽しみに。

このようにコロナ禍に於いても様々な動きがございました。

終息いたしましたらまた会員の皆様と共にまちを盛り上げていかれればと考えておりますので引き続き宜しくお願い申し上げます。





＼オリパラ2020暑〜い夏@品川宿／

ホッケーでつなげよう! しながわの わ!

オリンピック2020東京大会にてホッケー競技が品川区内の大井ホッケー競技場にて行われることが決定したことにより、区内のホッケー競技応援熱を盛り上げ、来街された方々をおもてなしして品川を楽しんでいただこうということで様々な企画が準備されていました。

まず、ホッケー日本代表選手団のオリンピック前の合宿の受け入れを行い、品川宿に宿泊し宿内で食事をしていただき競技場まで送迎をするという計画（※U-15の日本代表選手団の合宿は受け入れ、おもてなしをすることが出来ました）。そしてオリンピック期間中は大井ホッケー競技場にて国内外から訪れるボランティアをもてなすボランティアヴィレッジを目指す計画等々が進められていました。

しかし、新型コロナウィルス蔓延の影響でオリンピックは1年延期、そして外国からの入国制限等の影響ですべて中止。また、本年しながわホッケーファンゾーンとして、最寄り駅から大井ホッケー競技場まで向かうラストワンマイルに会場を作りステージ等リアルイベントを行う予定で、我々まちづくり協議会と共に品川区・品川区議会・（公社）日本ホッケー協会・区内各種団体や企業の皆さまにもご参加いただいて実行委員会を組織し、準備を進めてまいりましたがこれもまた中止になってしまいました。

それでも、その様々な計画の中でコロナ禍でもできるものだけでも行って、ホッケー熱の盛り上がりを区内はもとより日本全国に発信し、代表選手団に熱いエールを送る目的でいくつかの試みが行われましたので報告をさせていただきます。



①「HOCKEY TOWN しながわとホッケーをつなぐサイト」ホームページの開設

こちらのURLにて以下の様々な取り組みの紹介や動画配信をいたしておりますので是非ご覧ください。**https://shinagawa-hockey.com/**



②ホッケー共創ワークショップの開催（2020年より）

2020年よりリモートにて、ホッケー関係者と品川区住民とが多数参加をして、「ホッケー×しながわ」「ホッケー×おもてなし」「ホッケー×子育てママ世代」「ホッケー×アート」といったように「ホッケー×○○」でどのようなことができるかということを話し合い、「ホッケーでつなげよう!しながわのわ!」を合言葉に企画を進めてきました。

③しながわホッケーファンゾーンステージ（無観客）収録、インターネット配信

ホッケーファンゾーンステージ等のすべてのリアルイベントが中止になりましたが、全てを中止するのではなく、コロナ禍でもできることだけは開催しようということで、7/8（木）〜10（土）の3日間、新馬場の六行会ホールにてステージの公開収録を無観客で行い、区民を中心とした区内で活動されている皆様が出演され、ホッケー競技を応援している様子を現在もインターネットで配信をしております。

④しながわホッケーファンゾーン特別番組（ケーブルテレビ品川）他の放映

しながわeye ホッケー特集　しながわホッケーファンゾーンステージのダイジェスト特別番組（4回）が放映されました。

⑤ホッケー応援フラッグの募集、ホッケー応援動画の撮影および配信

区内各種団体や関連企業の皆様のご協力のもと日の丸や、品川区の「わ!」フラッグへの応援寄せ書きが集められ、3000人を超える皆さまの熱い応援メッセージと、応援動画を日本代表選手団の皆さまに届けました。

⑥品川ゆかりのアーティストによるホッケースティツクアート制作・展示

世界でもまだ行われていない試みとして「ホッケー×アート」をテーマに（公財）品川文化振興事業団のご協力を仰ぎ、品川ゆかりのアーティスト15名が真っ白なホッケースティツクに各々の世界観を表現してくださいました。

作品はパラリンピック最終日までは㈱東京モノレールのご協力のもと浜松町駅・天王洲アイル駅・大井競馬場前駅、9/11（土）〜12（土）にきゅりあん7Fイベントホールで無観客生配信にて行われた品川アーティスト展2021 での展示が行われました。



⑦第1回ホッケータウンサミット"わが街ホッケー座談会"（オンライン）の開催

7/18（日）19:00〜20:00にオンラインで開催。

日本全国のホッケータウンより代表して、富山県小矢部市・福井県越前町・山口県ホッケー協会・品川区の各代表者が参加し様々な取り組みの紹介や意見交換が行われました。コロナ終息後にはリアル開催を目指します。



⑧ホッケー川柳の募集

募集に対し100を超える作品が集まり、各賞が発表され各地域の特産品が賞品として送られました。

⑨ホッケータウン八潮キャンドルナイト

8/5（木）・6（金）17:00〜しながわホッケーファンゾーン実行委員会として、地元八潮のNPO八潮ハーモニーを中心とした有志の皆様と共に開催し、大井ホッケー競技場に向けて歓迎の想いを示すとともに静かなエールを送りました。


ホッケー日本代表選手も準備の手伝いに!



ホッケータウン八潮キャンドルナイト

⑩しながわハウスへの協力

オリンピック・パラリンピックの3種競技を品川区が応援する配信イベント（ホッケー日本代表女子の初戦、中国戦）のネット配信番組に出演し、盛り上げに協力をさせていただきました。

このようにコロナ禍でもできる方法で、ホッケー男子（サムライジャパン）・女子（さくらジャパン）日本代表を応援し、エールを送り続けて、応援熱を盛り上げてまいりました。

今回残念ながら男女とも決勝リーグには進出できませんでしたが、その我々の想いは選手団に届いていたようで、敗退が決まり8/1（日）選手村を退村して解散前にそのまま選手団・関係者の皆様が急遽直接品川区に立ち寄ってくださり、天王洲T-ロータス上にて報告会が行われました。

来年の2022年10/19（水）〜29（土）には<WMH マスターズホッケーワールドカップ 2022 東京>が予定されており、開催されれば世界中から1200名もの外国人が大井ホッケー競技場エリアに来街されることになります。また、2030年にはワールドカップを日本に招致しようという動きも出ています。それに合わせて「ホッケー×しながわ」でどのようなことができるか、どのようなおもてなしができるか、また今回行ってきたことをレガシーとしてどう残していくかを継続していきたいと思っております。紙面をご覧の皆様もアイデアがございましたらぜひお寄せいただけますと幸いです。

2030年のワールドカップ招致に向け、みんなでつなげよう!しながわの わ!

大越 章光

「Santen ブラサカ®グランプリ2021」を盛り上げました!

「無観客の大会でも、品川らしく熱く応援しよう!」という声かけのもと、ブラインドサッカー®品川区応援団体連絡会（会長佐藤勝彦／副会長堀江新三）として、応援事業を実施しました。

Santen ブラサカ®グランプリ2021
（参加国:日本／アルゼンチン／スペイン／タイ／フランス）
2021年5月30日〜6月5日
会場:品川区立天王洲公園

応援実績をご紹介させていただきます。

①ケーブルテレビ品川で、開幕戦の生中継!

開幕戦の日本vsフランスの試合を生中継しました。（1−0で、結果は見事勝利!）区内小中学生（約24000名）にブラサカの魅力と番組の告知を実施し、多くの皆様にご視聴いただきました。日本代表チームは、本大会で準優勝を果たしました。

②応援フラッグアクション

区内150団体・約3000名の皆様に、日の丸応援フラッグ／わ!しながわフラッグへの寄せ書きにご協力いただきました。すべて天王洲公園の会場に掲示しました。品川第一・第二地区の町会自治会の多くの皆様にもご参加いただきました。

③応援動画の投稿企画

区内22団体の皆様にご協力いただき応援メッセージ動画をケーブルテレビ品川の番組内で放送しました。

④音羽ゆりかご会（品川区）の子どもたちが参加国の言葉で各国の国家斉唱を行いました。

（試合前に会場の大型ビジョンで放送）　国歌斉唱を通じた国際交流が実現しました。また、地元の東京サラヤ（株）様より、大会で使用する消毒を寄贈していただきました。

⑤ 区内すべての小・中学生にチラシを配布しました。

たくさんのご協力、誠にありがとうございました! コロナ禍の厳しい状況ではありましたが、東京2020大会を盛り上げるさまざまな取り組みを通じて、スポーツの力を改めて感じることができました。

これからも、スポーツを通じて、まちを元気にしていく活動を実施していきます!　　竹中茂雄





アルゼンチン代表、スペイン代表は、日の丸を持って帰りました!

ゲストハウス品川宿のメンバーによるサポート!